

平成25年度事業計画及び収支予算について

平成25年度事業計画

平成25年度運営方針

昨年末の総選挙での安倍政権誕生により、15年間続いてきたデフレからの脱却を掲げた経済政策への期待感から、日本経済の流れは大きく変わろうとしています。

三重県においては、本年は神宮式年遷宮という20年に1度の大イベントがとり行われる年であります。神宮においては御木曳行事や宇治橋かけ替えといった平成17年から始まったご遷宮行事やパワースポットブーム等により、平成22年には過去最高の883万人という参拝者が訪れましたが、本年の参拝者数はそれをさらに上回ると予想されています。三重県の伊勢にまで来ていただいた参拝客をいかにして県内の各地域への観光周遊に繋げていくかが今年の最大の取り組むべき課題であり、式年遷宮後の観光客の減少を少しでも食い止めること、また来年の熊野古道世界遺産登録10周年を盛り上げるなど今後に繋げていくための取組として、三重県において「三重県観光キャンペーン～実はそれ、ぜんぶ三重なんです！～」が4月1日より3年間にわたって実施されます。

三重県観光連盟は、県の観光事業推進における最大のパートナーであることから、当キャンペーンに県と一体となって取り組んでまいります。ご遷宮という観光のビッグチャンスを、観光客の誘致・リピーターの増加の絶好の契機と捉え、より一層会員及び関係機関との協働・連携を図り、効果的な観光誘致宣伝を推進しながら各種事業を展開したいと考えています。また県内各地域が持つ地域の魅力を旅行者に向けて的確に情報発信し、県内外の人や地域との活発な交流の促進を図りながら、観光客の増大に向けた誘致活動の取り組みを進めていきます。

インバウンドにおいては、今年は2013日台観光サミットが志摩市において開催されることから、外国人観光客を増加させるチャンスであり、関連の会員と連携をとり三重県観光の魅力を少しでも多く発信できるよう参画していきたいと思います。

また三重県観光連盟は4月1日から公益社団法人として新たなスタートを切る予定です。公益法人としての社会的信用と会員の期待に応えていくことの責任を念頭におきながら各事業において最善を尽くしていく所存です。

なお、具体的な事業内容については次のとおりです。

1. 観光情報の収集発信

(1) 観光情報提供事業 (37, 230千円)

① H P 作成管理

三重県観光の総合的な情報受発信機能を担う機関として、観光情報の収集、観光ニーズの把握及び観光情報の提供をしていくとともにとともにとともに、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）を活用した情報発信を行う。

ホームページ「かんこうみえ」については、観光連盟としての独自性のあるサイトを立ち上げるなど内容充実に取り組むとともに、バナー広告による財源の確保に取り組む。

また、三重県観光キャンペーン公式サイトも併設する。

- H Pを中心とした情報提供

フラッシュやイチオシによる旬の情報の効果的な提供、各サイト情報の充実、メールマガジンによる情報発信を行う。

- SNSによる情報提供

フェイスブック、ツイッターにオフィシャルページを設けて観光情報を発信する。また、フォロワーやいいね！獲得キャンペーンを行う。

② 観光案内

- フリーダイアルによる情報提供

③ 広域観光案内業務〈県受託事業〉（一部新規）

緊急雇用創出事業を活用して職員を雇用し、従来からの御在所SAでの案内に加え、式年遷宮を迎える伊勢での案内も加えることによる窓口対応の一層の強化、高速道路SAや観光展でのPR、ドライブマップ及び三重県マップの増刷等観光情報発信業務の強化に取り組む。

(2) 観光情報提供強化事業(24, 733千円)

季節ごとの県内の観光情報を提供する季刊紙「観光三重」、「三重の観光ガイド」の発行を通じ、イベント情報、観光地情報等のきめの細かい情報発信に努める。

また、中部国際空港に観光ガイドマップ等を設置し、中部国際空港利用者への情報提供も引き続き行う。

- 季刊紙「観光三重」の発行

- 「三重の観光ガイド」の増刷

(3) 広域観光事業 (813千円)

日本観光振興協会の広域観光振興事業を活用し、三重県観光のPR及び観光客誘致を推進する。

- 日本観光振興協会などとの連携

2. 誘致拡大のための広報宣伝

(1) 観光宣伝事業 (11,695千円)

多様な分野の産業から構成される観光事業者等の連盟加入を推進し、観光振興のパートナーづくりを更に進める。

県内外で開催されるイベントのうち、より集客力のあるものに出展し、三重県観光のPRを行う。

県内各地のフィルムコミッショナの連携支援や研修を行う。

また、愛知・岐阜との共同事業を実施するなど誘客に努める。

- ・大都市圏会員活動支援事業
- ・産業観光スタンプラリーの共催
- ・F1日本GP地域活性化協議会への参画
- ・フィルムコミッショナ事業〈県受託事業予定〉(新規)
- ・各種観光展への出展
- ・三重県、市町等で構成する三重の観光営業拠点運営協議会への参画
- ・三重県観光キャンペーン推進協議会への参画

(2) 協働宣伝事業 (20,017千円)

県観光・国際局と連携し観光連盟と観光連盟会員が、それぞれの強みを生かしながら協働で宣伝事業の企画、運営を行う。

また、プレス関係者等を対象にした観光情報提供について、より効果的でタイムリーに、三重県観光の情報発信に努める。

① メディアに対する恒常的な情報提供

- ・メディアに対して、専用HP・メールマガジンを通したきめ細かい対応の展開

② 中京圏でのラジオ番組制作

- ・ラジオを使った定期的な観光情報の発信
- ・岐阜放送でラジオによる週1回の観光情報の発信

③ 関西圏、中京圏でのメディアに対する観光情報提供〈県受託事業予定〉

- ・県や市町等が実施するイベントとの連携を図りながら、関西圏、中京圏のメディアを対象とした観光情報提供会を開催する。

④ 首都圏における情報発信〈県受託事業予定〉

- ・神宮式年遷宮により、三重県に全国の注目が集まるチャンスを生かし、三重県営業本部等と連携し本年オープン予定の首都圏営業拠点施設等を核に「三重県観光キャンペーン～実はそれ、ぜんぶ三重なんです！～」のPRや三重の観光情報発信等を展開する。イベントそのものが話題を呼ぶようなしきけ作りを行い、首都圏における本県の知名度の向上を図る。

3. 観光産業及び観光文化の振興

観光物産連携事業 (577千円)

県内外で開催される物産展と連携した観光PRを展開する。

- ・物産観光展出展事業

4. 観光基盤整備

(1) 観光基盤整備事業（一部新規）（2, 495千円）

観光連盟の事業運営に関して、会員の意向を反映し効果的な事業展開を図るため、会員相互の情報交換・意見交換の場を設定し、ネットワークを強化する。

三重県観光キャンペーンのみえ旅案内所職員などを対象に式年遷宮を契機としたおもてなし向上のための研修会を開催する。

- ・地域懇談会事業
- ・観光事業振興功労表彰
- ・観光案内連携事業〈県受託事業予定〉（新規）

(2) 観光ボランティアガイド事業（1, 055千円）

おもてなし三重観光ボランティアガイド連絡協議会へ事業委託し、ボランティアガイド間の連携、組織の強化を図る。

主な委託内容

- ・総会、全体研修会、地域交流研修会等の開催

5. 外客誘致促進事業

国際観光事業〈県受託事業予定〉（2, 711千円）

県及び三重県外国人観光客誘致促進協議会と連携して、東海地区、関西地区のインバウンドを目的とした協議会等で実施する共同事業を通じ、アジアを中心としたメディア等のアテンドに取組む。

- ・外国人メディア等のアテンド業務
- ・外国語版ホームページ管理